

認定 NPO 法人北海道 NPO ファンド まちのプロジェクト基金

助成事業報告書

※本報告書は収支決算詳細を除き、北海道 NPO ファンドホームページに公開されます。

記載日：2022 年 1 月 28 日

1. 実施事業について

実施事業名	はこだて防災マルシェ 2021
団体名	函館市女性会議
助成額	210,800 円
事業実施時期	2020 年 8 月～2021 年 12 月

2. 事業報告

(1) 実施事業について(イベント実施、講座の開催など)

- 講演会 1「災害時のトイレ対策」NPO 法人日本トイレ研究所代表理事 加藤篤氏
2「日々の暮らしを防災に！実践したくなる、ゆるっと防災」アウトドア防災ガイド あんどうりす氏
- 体験 ・津波ハザードマップを体験しよう 北海道渡島総合振興局・函館地方気象台
・災害用トイレ展示・体験
・電気自動車と高所作業車の展示と乗車体験 北海道電力ネットワーク株式会社
・防災クイズラリー
・日常・非日常で使える地方創生 DX 株式会社フォルテ
・災害対応自動販売機の無料取出し体験 北海道コカ・コーラボトリング株式会社
- 学ぶ ・「やさしい日本語」ってなあに？ JICA 函館デスク
・LGBTQ+と防災 レインボーはこだてプロジェクト
・函館市の災害備蓄品の展示と函館市の災害対策についての講話 函館市総務部災害対策課
・「ライフハック」の実演 自衛隊函館地方協力本部
・生理用品マイスターが教える災害時の生理 一般社団法人 JOY
・防災ジャパンドプロジェクト 損保ジャパン
・防災商品案内 三和防災株式会社
・防災アンケートパネル展示 ミドリ安全株式会社
- 作る ・防災×アート 心喜ぶ、思いっきりアート&kids アートはるの木道南
・パラコードキーホルダー作り フフジカン
・LED ランタンとキラキラデコホイッスルのワークショップ 函館市女性会議
・災害もしもブック作り

・ゼロ次の備え防災ポーチ

ほっとで Hot つなぐとボード 函館市女性会議と繋がりませんか？

活動紹介ブース 第一生命株式会社 函館地区保護司会

(2) 事業経過(何年何月に何を行ったという形でご記入ください)

(活動の様子が分かる写真を、2～3 枚別添えてください)

2020 年 1 月 28 日(火)14:00～ ミーティング

2 月 6 日(木) 18:30～ まちプロミーティング

7 月 1 日(水) 10:00～ 聞き取り

8 月 17 日(月) 15:00～ 面談

28 日(金) 15:00～ 面談

11 月 3 日(火) 13:00～ ミーティング

12 月 13 日(日) 15:00～ まちプロミーティング

2021 年 2 月 19 日(金) 13:00～ まちプロミーティング

3 月 27 日(土) 13:30～ まちプロミーティング

4 月 17 日(土) 10:30～ まちプロミーティング

5 月 22 日(土) 10:30～ まちプロミーティング

27 日(木) 18:00～ 函館チームミーティング

6 月 4 日(金) 10:00～ アートチームミーティング

12 日(土) 10:00～ まちプロミーティング

26 日(土) 10:00～ まちプロミーティング

7 月 1 日(木) 10:00～ 函館市総務部災害対策課とミーティング

13 日(火) 13:30～ 北海道渡島総合振興局と函館地方気象台とミーティング

14 日(水) 16:00～ クラウドファンディングのミーティング

17 日(土) 10:00～ まちプロミーティング

23 日(金)～25 日(日) 街角 NEWCULTURE に出展

31 日(土) 10:00～ まちプロミーティング

8 月 4 日(水) 13:00～ 運営チームミーティング(ポスター、チラシ打合せ)

21 日(土) 12:50～ 延期案内状発送作業

26 日(木) 16:00～ 函館市女性会議事務局会議

9 月 5 日(日) 13:30～16:00 スタッフ事前研修ミニ講演会

21 日(火) 11:00～ 運営チームミーティング

10 月 2 日(土) 10:00～ まちプロミーティング

13 日(水) 12:00～ アートチームミーティング

14 日(木) 9:00～ 北海道渡島総合振興局と自衛隊函館地方協力本部と JICA 函館デスクのミーティング

19 日(火) 13:00～ 運営チームミーティング

23 日(土) 13:00～ 運営チームミーティング

26 日(火) 13:00～ 防災クイズラリーチームミーティング

28 日(木) 10:00～ 受付担当ミーティング

30 日(土) 17:00～ 前日準備

31 日(日) 9:00 スタッフ集合

10:00～15:00 はこだて防災マルシェ 2021 開催

11 月 4 日(木) 10:00～ 運営チームミーティング

26 日（金）18:30～ スタッフ反省会

(3) 寄付者・地域社会への報告

- ＊ ホームページ・Facebook・Instagram・Twitter で事業終了の報告とお礼を発信
- ＊ クラウドファンディング・協賛いただいた法人と個人へお礼状と心ばかりのプレゼントを送付

(4) まちのプロジェクト基金によって、申請事業にどのような変化がありましたか？

- ・初挑戦したクラウドファンディング・募金箱の設置・協賛金のお願いなどの活動を通して、ネットワークを全国に広げることができた。
- ・平成 24 年度から継続してきた男女共同参画の視点の防災への取り組みの重要性を高く評価していただく場面が多く、活動に協賛し、参加してくださる方々が日を追うごとに多くなり、活性化された。

(5) この事業を行うことにより、組織にどのような変化がありましたか？

- ・ホームページ・Facebook・Instagram・Twitter への投稿を毎日継続したことで、「函館市女性会議」の認知度を高めることができた。
- ・スタッフとして参加してくださった団体の中から 3 団体が、新たに加盟団体として加入した。
- ・組織内の世代交代のきっかけとなった。
- ・目指している「まちのプラットフォーム」としての役割を果たすことができてきた。
- ・役員・理事の役割分担意識が高まった。

(3) 収支決算

※収入の部「当助成金収入（助成希望額）」と、1.助成希望額は一致させてください。行は適宜追加してください

収入の部	費目	金額（円）	備考
	当助成金収入	210,800	
	他自主財源など	418,467	
収入の部 合計		629,267	①
当助成金 充当支出	費目	金額（円）	備考
当助成金（このプログラムで集めた寄付金）を充てる費目を記載 ※原則公開	講師謝金	82,500 50,000	27,500(9/5) + 55,000(10/31)
	講師旅費	60,900 56,680	
	広告印刷費	145,430	ポスター・チラシ印刷代
	消耗品費	118,705	ワークショップ材料費・コピー代・掲示物作成費・事務用品費他
	通信費	30,932	案内状・お礼状・資料郵送代・振込手数料他
	会場費	11,200	会場使用料・プロジェクター使用料
	会議費	400	駐車場代
	スタッフ経費①	2,520	ボランティア保険加入代
	小計	559,267	②
その他支出	費目	金額（円）	備考
当助成金（このプログラムで集めた寄付金）を充てない費目を記載	スタッフ経費②	70,000	お弁当代(@600円×100個) お茶代(@100円×100本)
	小計	70,000	②
支出の部 合計		629,267	③ + ③ = ①

(4) 事業終了後の活動予定

- ・報告書の作成→ホームページの更新
 - ・第 50 回はこだて・女性大会(2022 年 3 月 5 日)ドキュメンタリー映画「みんなの学校」(日本語字幕付き)上映会の開催
 - ・会報の発行(2022 年 3 月)
 - ・はこだて心笑温泉の開催(2021 年 6 月より毎月第 3 水曜日)
 - ・2022 年度事業計画
- 【誰ひとり取り残さないまち函館プロジェクト】
- ① 「はこだて防災マルシェ 2022」開催準備(2022 年 9 月予定)
 - ② 防災教育「避難所運営体験」函館市内中学校で開催予定 協力団体：一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと
 - ③ ユニバーサルファッションショー SDGs と高校生をつなげる

(5) 事業をすることで得られたもの

- ・函館市女性会議をより多くの皆様に知っていただき、加盟団体も増え、活動を応援して下さるサポーターに恵まれたことが何よりの力になった。
- ・「まちのプラットフォーム」として多様なネットワークを構築することができたことと、ネットワークがまだまだ広がる可能性がある。
- ・函館市女性会議の組織力の強化に繋がった。



防災マルシェ終了後の集合写真

令和3年) 11月2日(火曜日)

函 館

災害への備え学ぶ

市女性会議が防災マルシェ

函館市女性会議(佐々木 香会長)は10月31日、市地域「はこだて防災マルシェ2021」を開いた。



災害用トイレの
展示ブースで来
場者に携帯トイ
レの使い方を説
明するスタッフ
(左)

市民らが体験・展
示ブースや講演な
どを通して、楽し
みながら災害への
備えを学び、防災
意識を高めた。
防災に特化した
初のイベント。当

初は9月開催を予定してい
たが、緊急事態宣言発令を
受けて延期。内容を一部見
直して実施した。

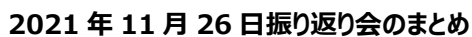
同センター内では、津波
の高さが視覚的に分かる津
波ハザードマップ、段ボー
ルベッドや避難所用屋内テ
ントの使い心地体験、防災
グッズの手作りワークショ
ップなど、企業・団体・行
政機関が防災関連の17ブー
スを展開した。

外国人にやさしい日本語
で災害情報を伝えるための
ミニ講座、LGBTQ(性
的少数者)の視点で考える
避難所や災害支援の在り方
など、さまざまな側面から
情報を提供。災害時に大き
な問題となるトイレについ
ては、携帯トイレ3種類を

展示するとともに、希望者
には使用体験も行った。災
害用トイレを体験した畑田
繭さん(27)「札幌市」は
「使ってみないと分からな
いこともある。もしもの時
のために備えることが大切
だと思った」と話した。

また、NPO法人日本ト
イレ研究所代表理事の加藤
篤さん、アウトドア防災ガ
イドのあんどうりすさんに
よる講演とトークセッション
もあり、講演はオンライ
ンでも同時配信した。

(早坂直美)



【宛先】認定 NPO 法人北海道 NPO ファンド 北の NPO 基金事務局
メール npofund@npo-hokkaido.org